

特集 1

新薬で変わる感染症治療

●ESBL 産生菌感染症—新薬タゾバクタム/セフトロザンの有用性と今後の治療展望

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科泌尿器病態学 講師 和田耕一郎

●新薬上市後の変化とさらなる治療展望

①多剤耐性結核—ベダキリンの臨床使用

独立行政法人国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター 感染症研究部長 露口一成

②MRSA 感染症—テジゾリドの臨床使用 近畿大学病院安全管理部感染対策室 教授 吉田耕一郎

③インフルエンザ—パロキサビルマルボキシルの臨床使用

東北文化学園大学医療福祉学部抗感染症薬開発研究部門 特任教授 渡辺 彰

特集 2

外来のための性感染症治療の指針

●外来における性感染症の現況—診療時に心得ておくべき市中動向 三田市民病院 院長 荒川創一

●外来における性感染症治療の基本と実践

①クラミジア感染症 愛知医科大学医学部産婦人科学講座 准教授 野口靖之

②淋菌感染症 国家公務員共済組合連合会新小倉病院泌尿器科 部長 瀧砂良一

③梅毒

東京慈恵会医科大学皮膚科学講座 教授／東京慈恵会医科大学附属病院皮膚科 診療副部長 石地尚興

④ HIV 感染症 横浜市立市民病院感染症内科 科長／部長 立川夏夫

横浜市立市民病院感染症内科 医長 吉村幸浩

(上記企画は一部変更になる場合があります。)